



## “地域連携で解決する誤嚥性肺炎” ～ 白熱グループワーク開催！！

地域の保健・医療・福祉関係者にご参加いただき、地域医療支援局主催の第22回在宅研修会を3月11日(水)18:00から当院で開催しました。

今回は「地域連携で解決する誤嚥性(ごえんせい)肺炎」がテーマ。シゲさん(80歳の男性)という誤嚥性肺炎にかかってしまった架空の人物を地域の各職種が連携・協力し、どうやって支えていくのかを考え、あるべき地域連携の姿を明らかにしようというものです。

島根県雲南市からお越しいただいた「NPO法人おっちラボ」代表理事で、コミュニティーナース(保健師)の矢田明子先生が講師となり、ペルソナ・マーケティングという手法を用いて、白熱のグループワークが展開されました。



受講者36人を8班のグループに分け、それぞれのグループで7割の人が「ある！ある！」と納得・共感のできる誤嚥性肺炎のシゲさんの物語を作り出し、そのシゲさんの置かれた状況に応じて、「私だったら何が強みで、何ができるのか」「訪問診療に熱心なあの先生とこんなふうにやれたら」と連携の仕方を模索し、最適な連携体制を構築することで「自宅に帰りたい」「農業をまたやりたい」といったシゲさんの希望を実現しようというのがゴールです。



今回、採用したペルソナ・マーケティングというのは、実際に自社の商品やサービスを使っ

てくれるであろうモデルユーザー(ペルソナ=架空の顧客像の物語)を作り出し、そのユーザーのニーズを満たすような形で商品やサービスを設計するというマーケティング手法です。

モデルユーザー(ペルソナ)のみが満足するように商品やサービスの設計を行うこの手法は、自然と商品・サービスが特徴ある魅力的なものになってくるといわれています。



グループワークの最中は、企画した当院総合診療科の齊藤医師だけでなく、川上診療所の佐久間医師、県立総合医療センターへき地医療支援部の原田医師が指導・助言者として参加し、皆と熱心にやりとりをされていました。

院内だけでなく、地域の多職種との連携を円滑に行い、患者ご本人・ご家族に寄り添うより良い医療を目指していきたいと思えます。

**地域連携室 社会福祉士 藤永 由希子**



## 医師交代のお知らせ

### 【常勤医師】

3月31日付けで、内科・循環器科 藤村 達大 医師、内科・消化器科 五嶋 敦史 医師、小児科 高橋 一雅 医師、藤本 洋輔 医師が退職いたしました。藤村医師、高橋医師、五嶋医師、藤本医師は宇部市の山口大学医学部へ異動となります。

なお後任として、3月23日付けで小児科に真方 浩行医師が、4月1日からは、内科・循環器科に中村 武史 医師、内科・消化器科に中村 宗剛医師、小児科に兼安 秀信医師が山口大学医学部から、また新任として内科・消化器科に藤原 真一医師が着任し、診療を行います。

どうぞよろしくお願いいたします。

### 【非常勤医師】

3月31日付けで、内科・循環器科 石口 博智 医師が退職となります。

4月より、整形外科 山縣 大樹 医師から岡崎 朋也 医師に交代となります。

患者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



《業績・研究発表会》 3月24日（火）に教育委員会の主催で業績・研究発表会を開催しました。各部署・委員会がこの1年に取り組んだ活動について、その経過や成果を報告し、さらなる取り組みの活性化につなげようというもの。発表された演題は5題。皆、熱心に聞き入るとともに、活発に質問・意見等を交わしました。



- ① ICLS 事務局としての今年度の活動報告及び今後の課題（ICLS 事務局とは、「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得する医療従事者向けのコースの事務局）
- ② 待機家族の誤認防止対策～ネームホルダーを作成して（西病棟）
- ③ 看護師達の‘ありのまま’の想い（ワークライフバランス委員会）
- ④ すり抜けちゃダメよ～・ダメ・ダメ！ 適正な上半身用ベルトの使用（透析室）
- ⑤ 1年間の ICT 活動報告（ICT＝感染制御チーム）

《ひな祭りイベントを開催》 3月18日（水）にCS委員会の主催で、入院されている患者の皆様とご家族を対象とした「ひな祭りイベント」を開催しました。今回のイベントでは栄養科職員が手作りのぜんざいを用意し、参加された方にふるまいました。多くの方が来場され、おなじみの「金混管（きんこんかん）バンド」の皆さんによる演奏が行われるなか、歌を歌われる方や踊られる方など、会場は大盛り上がりでした。引き続きこのようなイベントを行い、皆様とのふれあいを大切にしていきたいと思っております。※CS＝Customer Satisfaction（顧客満足）の意。



## 春の訪れを告げる～わかめ

### 春の風物詩

この時期、海側を中心にわかめを干してある光景がよく見られます。天気に合わせて手際よく干すことで、風味豊かな色よい干しわかめとなります。それを細かくきざみ、温かいおむすびにまぶすだけのシンプルな「わかめむすび」は、萩市ではお馴染みの味です。ご飯の水分をほどよく吸った刻みわかめの香りがご飯にも移り、海の味がやさしく香るこれぞ春の味です。



### わかめに含まれる栄養は？

わかめは水溶性の食物繊維であるアルギン酸を多く含むことが特徴です。アルギン酸は大腸の働きを活発にして便通を促し、コレステロールや腸内の有害物質を体外に排出し、大腸がん・動脈硬化などの予防に効果的だといわれています。その他、基礎代謝を活発にして肥満予防や精神安定、心身を活性化させる働きのあるヨウ素、体内に蓄積されたナトリウム（塩）を排出させ、むくみを抑え、高血圧を予防する効果があるカリウムなど多くのミネラルを含みます。カリウム制限のある方は食べ過ぎ注意です。

## 萩のあれこれ

別れの季節が過ぎ去り、出会いの季節となりました。木々には薄桃色の花が咲き、まるで新たな出会いを祝福するかのようです。季節感と新たな出会いへの希望を感じさせる桜を楽しむ場所は多々あります。屋外で花見をされる方も



多いかと思いますが、今回は室内から美しい桜が楽しめる、渡辺蒿蔵旧宅をご紹介します。

渡辺蒿蔵は、1843年生まれの松下村塾門下生の一人で、欧米に留学して造船学を学び、帰国後は長崎造船所所長・工部省技師などを歴任、日本近代造船界のパイオニアと呼ばれています。この旧宅は彼の住居として明治中期に建てられたもので、数寄屋（すきや）造りの茶室は日常から切り離された空間で、どこか安らぎを感じさせます。反対に、今も残されている竈（かまど）や井戸は、古き日本の生活の痕跡を感じさせてくれます。そして広い座敷。その広さゆえ、雛人形の展示、茶会の会場など様々な用途に用いられますが、注目していただきたいのは、座敷から見える景色です。橋本川を望む河畔だけでも美しい眺めなのですが、この景色に桜が加わることにより、まるでパノラマの風景画を見ているかのような景色が楽しめます。もちろん、桜がなくとも美しく心洗われる風景が楽しめますし、茶室や日本庭園、台所といった見所も多数ありますので、お近くに寄られた際には是非、足をお運びください。

西病棟看護師 平野 明子

萩市民病院 外来診療担当医師一覧

平成27年4月1日現在

受付時間  
午前8:30～11:30／午後13:00～16:30  
診療時間  
午前8:45～12:00／午後13:30～17:00

外来診療は基本的に「予約制」です。  
なお小児科専門外来は、既に診断がついて他院の紹介状をお持ちの方を除いては、まず午前中の一般外来を受診していただき、必要な検査等を行った上で専門外来へ院内紹介をいたします。  
いずれの場合も救急・急患はこの限りではありません。

診療科	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
総合診療科	午前		齊藤 裕之	齊藤 裕之	齊藤 裕之		
内科	午前	米澤 文雄	米澤 文雄	安藤 みゆき	米澤 文雄	内田 耕資	
		安藤 みゆき	刀禰 尚	中村 武史	刀禰 尚	中村 武史	
		中村 武史	内田 耕資		安藤 みゆき		
					内田 耕資		
	午後						
	神経内科	午前					佐野 泰照(大学)
	消化器内科	午前	松本 賢治	松本 賢治	中村 宗剛	松本 賢治	中村 宗剛
糖尿病外来	午前/午後			幡中 雅行(大学)			
小児科	一般外来	午前	真方 浩行	真方 浩行	真方 浩行	真方 浩行	
			兼安 秀信	兼安 秀信	兼安 秀信	兼安 秀信	
	※専門外来	午後	腎臓(第3) (白石)	神経(第1・3・4) 午前・午後(伊住)	心臓 (偶数月第2・藤原) (奇数月第3・鈴木)	アレルギー (第2・4) (真方)	
外科 (午後は手術)	午前初診	中村 丘	坂野 尚	中村 丘	坂野 尚	工藤 淳一	
	午前再診			工藤 淳一	中村 丘	坂野 尚	
整形外科 (午後は手術)	午前初診	瀬戸 隆之(大学)	手術のため休診	岡崎 朋也(大学)		桑原 嘉一	
	午前再診	桑原 嘉一		桑原 嘉一	桑原 嘉一		
放射線科検査	終日	米城 秀	米城 秀	米城 秀	米城 秀	米城 秀	
麻酔科 (ペインクリニック)	午前		原田 英宜(大学)				
内視鏡検査	午前/午後	川野 道隆(大学)	中村 宗剛	松本 賢治	佐伯 一成(大学)	西村 達郎(大学)	

※ 午後からの内科外来は、専門外来のみとなっています。初診の方は電話予約のうえ、午前中の総合診療科・内科外来を受診されますようお願いいたします。なお、救急・急患についてはこの限りではありません。

※ 膠原病外来、糖尿病外来、麻酔科、及び大学の内科非常勤医師の診察は院内紹介のみです。初診あるいは他院からの直接の紹介は受けつけておりませんので、予めご了承下さい。

萩市民病院 予約センター 電話(0838)25-1235 ※土・日・祝日を除く月～金 8:30～17:00受付

朝は電話が混み合います。つながりにくい場合は、お手数ですが時間をおいておかけ直し下さい。  
また、おかけ間違いのないよう十分にご注意願います。

他の医療機関からの受診の際は、紹介状をお持ちいただきますよう、よろしくお願いいたします。



さっちゃん通信ぼやきコーナー  
(編集後記)

2月中旬から3月末にかけて、笠山の椿群生林にて椿まつりが行われました。

毎年椿まつりには、呈茶のため参加するのですが、今年は担当日があいにくの雨となり、呈茶席は中止となりました。毎年参加しているだけに、一年に一回椿の姿を拝まないと春を迎えられないなどと思い、新しく購入したカメラ片手に笠山まで車を走らせました。

緑い茂る木々には、紅色の椿が映え、どの角度から撮っても絵になります。次第にレンズは下へと向き、地面に落ちた椿を夢中で撮影していました。椿は花のまま散るため、落ちた姿も美しく、気高さを感じさせる光景を生み出していました。私もそんな椿のような人生を送りたいと思いつつも、日々の生活を振り返るとあまりの差に愕然とします。

日々を積み重ねていく中で、椿のような気高さを身に付けたいものです。

【平野】